

<パートナーシップ>

放送の送り手である自社と受け手である視聴者との双方向コミュニケーションにのっとり信頼関係を構築していく。社内では、個々人に応じた職場環境及び多様な人材の活躍の場を構築する。「NPO21くまもと金峰・有明 環境会議」での植樹活動や、熊本県・熊本市他、団体・企業の協力により実施する「江津湖クリーン作戦」の継続、県内企業や大学など、業種を超えたパートナーシップを通し、地域経済や将来を担う人材育成に寄与する。国際的な自転車レース「ツール・ド九州」は、九州の経済団体トップと各県知事の連携によって構成される九州戦略会議において2023年に初開催され、弊社は本年も引き続きメディアとして参画し、レースの様相及び九州熊本の魅力を世界に向けて配信する。今後も、コロナが収束し、停滞した経済の循環・活性化を目指すとともに、インバウンド需要を喚起させ新たな観光立県を目指す。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ふるさと熊本のために 熊本地震を経験した放送局として、被災で再認識した防災の重要性とその教訓を風化させない取り組みを継続し、地元企業として熊本県民の生活を守るという使命を全うする。 地震や豪雨災害で被災したふるさと熊本の復興に向かう姿を継続的に紹介するとともに、熊本の魅力を県内に限らず全国・世界へと発信する。 (番組)「TKUライブニュース」(熊本地震、熊本県南部豪雨災害の継続取材・放送、「防災プロジェクトチーム」の新規立ち上げによる取材・放送)「英太郎のかたらんね」「熊本がいい～の」「熊本城マラソン」「郷土の偉人シリーズ」、熊本の魅力を発信する、海外向けの番組制作・放送など。	・熊本の放送局として、熊本地震や豪雨災害の経験を風化させることの無いよう継続的に記録・放送して県民への周知を図る。 ・熊本の観光・自然・文化・歴史などの魅力を県内に限らず、全国・世界へと発信する。	視聴者の防災意識を高めるため、ニュース内で『シリーズ 命を守る・防災』を放送。在熊テレビ5局による共同防災キャンペーン『逃げるスイッチオン』を実施した。 台湾のビデオオランド日本チャンネル(緯来日本台)で九州・熊本の魅力ある観光スポットや食を紹介した。近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして初開催された自転車レース「ツール・ド九州」の生配信を通し、九州・熊本の美しい自然や風景を世界に向けて発信した。 新千円札の顔で現・小国町出身の北里柴三郎を取り上げ、ドラマを制作・放送した。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	豊かな熊本の自然のために 2012年から継続中の「水の国くまもと応援プロジェクト進行中。」をテーマに、熊本の恵まれた水環境保全活動に取り組み、県民に広く啓発を行う。 例)「TKUライブニュース」にて「シリーズ水の国」の放送、「英太郎のかたらんね」におけるかたらんね米の栽培(くまもと地下水財団「水田オーナー制度」での地下水の涵養)、「NPO21くまもと金峰・有明 環境会議」の植樹活動への参加、「江津湖クリーン作戦」の実施 など。	・ニュースや番組で、熊本の恵まれた水環境保全への取り組みを継続的に紹介し、県民に広く啓発する。 ・水田オーナー制度参加による毎年4,410㎡の地下水の涵養を維持する。 ・環境保全ボランティアへの参加を従業員に継続的に呼びかける。	「TKUライブニュース」ではシリーズ水の国の継続放送(放送開始から156回放送済み)、「英太郎のかたらんね」では「かたらんね米」を毎年栽培し、地下水の涵養を維持した(4,410㎡)。江津湖クリーン作戦には社員を含め約300人が参加した。

<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	<p>【未来の子どもたちのために】 子どもたちに学び・スポーツの場を提供し、子育て世代に向けた支援策を紹介する事業を展開。熊本の将来を担う子どもたちの成長を応援する。 実施例)・子育てすくすくこども博・キッズサッカー・熊本復興文化祭・スケッチ大会・マーチングフェスティバル、自社制作番組「若っ人ランド」、子育て応援企画「はじめてばこ」など。</p>	<p>・子どもたちが参加するスポーツ大会や文化事業を継続的に実施する ・子育て世代に有益な情報を紹介するイベントや企画を実施する</p>	<p>キッズサッカー・スケッチ大会・マーチングフェスティバル、自社制作番組「若っ人ランド」、子育て応援企画「はじめてばこ」など。部活生の集大成ともいえる熊本県高校総体の模様をライブ配信した。「はじめてばこ」は2020年10月のスタートから今年6月までに県内の生後6か月の赤ちゃん23,720人にプレゼントし、子育て情報や便利グッズの提供を行った。中学生・高校生・大学生向けの「インターンシップ」を年5～6回実施した。</p>
---	--	---	--

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。